

# 自治体における小型家電リサイクルの 先進的取組事例

## ＜掲載自治体名(50音順)＞

- (1) 足立区【東京都】 (2) 安城市【愛知県】 (3) 石狩市【北海道】  
(4) 一宮市【愛知県】 (5) 射水市【富山県】  
(6) 尾張東部衛生組合【愛知県】 (7) 刈谷知立環境組合【愛知県】  
(8) 黒部市【富山県】 (9) 高岡市【富山県】  
(10) 多治見市【岐阜県】 (11) 調布市【東京都】  
(12) 常滑武豊衛生組合【愛知県】 (13) 砺波市【富山県】  
(14) 富山市【富山県】 (15) 豊田市【愛知県】 (16) 長岡市【新潟県】  
(17) 名護市【沖縄県】 (18) 南越清掃組合【福井県】  
(19) 羽咋郡市広域圏事務組合【石川県】  
(20) 白山石川広域事務組合【石川県】 (21) 半田市【愛知県】  
(22) 氷見市【富山県】 (23) 安来市【島根県】 (24) 輪島市【石川県】  
(25) 輪島市穴水町環境衛生施設組合【石川県】

## ＜提携事業者名(50音順)＞

- ①(株)アビツ ②(株)要興業 ③(有)協同回収 ④許可業者協議会  
⑤シーピーセンター(株) ⑥スズトクホールディングスグループ  
⑦(株)筑紫環境保全センター ⑧トーエイ(株) ⑨トヨキン(株)  
⑩ハリタ金属(株) ⑪(株)マテック ⑫三豊工業(株) ⑬(株)宮里  
⑭(株)リーテム

平成23年7月  
経済産業省

## はじめに

経済産業省では、自治体において使用済みの小型家電等※から金、銀をはじめとする貴金属やレアメタルなどを回収・リサイクルしている取組を推進するため、このたび、当省が把握している先進的取組事例を「自治体における小型家電リサイクル先進的取組事例」として取りまとめました。

この先進的事例が小型家電リサイクルを検討されている自治体やリサイクラーにとって一助となれば幸いです。

なお、この先進的事例に記載されている内容は、関係する自治体及びリサイクラーの方々から取材等をさせていただき掲載させていただきました。この紙面を借りて、深く感謝を申し上げます。

※ポータブルCD・MDプレーヤー、DVDプレーヤーなど、家電リサイクル法の対象品目（テレビ、冷凍・冷蔵庫、エアコン、洗濯機・衣類乾燥機）以外の家電製品等

# 自治体における小型家電リサイクルの先進的取組事例 目次

## 【事例集：自治体編】

- (1) 足立区【東京都】
- (2) 安城市【愛知県】
- (3) 石狩市【北海道】
- (4) 一宮市【愛知県】
- (5) 射水市【富山県】
- (6) 尾張東部衛生組合【愛知県】
- (7) 刈谷知立環境組合【愛知県】
- (8) 黒部市【富山県】
- (9) 高岡市【富山県】
- (10) 多治見市【岐阜県】
- (11) 調布市【東京都】
- (12) 常滑武豊衛生組合【愛知県】
- (13) 砺波市【富山県】
- (14) 富山市【富山県】
- (15) 豊田市【愛知県】
- (16) 長岡市【新潟県】
- (17) 名護市【沖縄県】
- (18) 南越清掃組合【福井県】
- (19) 羽咋郡市広域圏事務組合  
【石川県】
- (20) 白山石川広域事務組合  
【石川県】
- (21) 半田市【愛知県】
- (22) 氷見市【富山県】
- (23) 安来市【島根県】
- (24) 輪島市【石川県】
- (25) 輪島市穴水町環境衛生施設組合  
【石川県】

## 【事例集：事業者編】

- ① (株) アビツ
- ② (株) 要興業
- ③ (有) 協同回収
- ④ 許可業者協議会
- ⑤ シーピーセンター(株)
- ⑥ スズクホールディングス  
グループ
- ⑦ (株) 筑紫環境保全センター
- ⑧ トーエイ(株)
- ⑨ トヨキン(株)
- ⑩ ハリタ金属(株)
- ⑪ (株) マテック
- ⑫ 三豊工業(株)
- ⑬ (株) 宮里
- ⑭ (株) リーテム

## 【その他の取り組み】

- 携帯電話リサイクル推進協議会

## 【まとめ】

- 自治体・提携事業者における取組事例について

## 【自治体編:事例(1)】

# 足立区

- ・人口は、約67万人
- ・面積は約53.20km<sup>2</sup>
- ・東京23区の最北端に位置



### ★燃やさないごみ・粗大ごみ(小型家電を含む)の再資源化のメリットは？

- ・燃やさないごみ、粗大ごみの再資源化率の向上
- ・埋立処分量の減量化

### ★燃やさないごみ・粗大ごみの再資源化のきっかけは？

- ・平成21年度から、区内部で検討を続けてきたものであり、再資源化に伴う財源確保に目処がたったため。

### ★燃やさないごみ・粗大ごみの再資源化はどのように行っているの？

- ・新小型・軽小型ダンプ車により資源回収場所・ごみ集積所から収集し要興業に搬入。粗大ごみは各戸収集し中継所でまとめ後、(株)要興業に搬入。
- ・収集物を、小型家電類、金属、ガラス、蛍光灯、プラスチック、陶磁器などに手選別【(株)要興業に委託】
- ・手選別したものを、破砕・分別作業を行い、再生処分先に売却【(株)要興業に委託】



### ★燃やさないごみの回収量は？そのうち、金属類、小型家電類の回収実績はおおよそどのくらい？

- ・平成22年度の燃やさないごみは約5,000トン。そのうち、「金属類」は1,672トン、「小型家電類」は399トン。

### ★どのような小型家電が多いの？

- ・炊飯器、トースター、電話機、ドライヤー、ポット、アイロン、ジューサー、ミキサーなどが多い。

### ■提携事業者

○株式会社要興業

### ■問い合わせ先

足立区環境部計画課

電話：03-3880-5813

## 【自治体編：事例(2)】

### 安城市

- ・人口は、約18万人
- ・中部経済圏の中心である名古屋市から30kmの距離
- ・自動車関連企業が集積



#### ★小型家電等の分別・回収メリットは？

- ①環境負荷の低減(埋立処分量の延命化、リサイクル率の向上)
- ②廃棄物から循環資源への転換(回収した小型家電は“有価物”として売却)

#### ★小型家電等回収のきっかけは？

- ①中部経済産業局からの提案が、本市の環境首都を目指す方針に合致したことから、平成22年度に1カ月間の試行を実施。
- ②当初の予想を上回る量の回収ができたことから、平成23年4月から本格実施。



#### ★資源化しようとしているゴミの回収対象範囲は？

- ・コンセント若しくは電池で動く電化製品全般(家電リサイクル法の対象品目を除く)

#### ★その回収量は？そのうち小型家電の割合はおおよそどのぐらい？

- ・平成22年10月の1カ月の試行期間で約7.3トン。そのうち小電は約5.5トン。平成23年4月は約5トン。

#### ★小型家電等はどのように選別しているの？

- ・安城市リサイクルプラザに集められた不燃ごみの中から職員がピックアップを実施。

#### ★小型家電等の売却価格は？

- ・試行は1円/kgで行ったが、本格実施にあたっては入札の結果10円/kgで実施。

#### ■提携事業者

○株式会社アビツ

#### ■問い合わせ先

安城市環境部環境保全課清掃事業所

電話：0566-76-3053

## 【自治体編：事例(3)】

# 石狩市

- ・人口は、約6万人
- ・札幌市に隣接し、日本海沿いに北へ厚田区、浜益区と続き、総面積は721km<sup>2</sup>



### ★小型家電等の分別・回収メリットは？

- ・住民に対する再資源化意識の啓発

### ★小型家電等回収のきっかけは？

- ・レアメタル等のリサイクルについて、市議会等でも話題となっていた折、(株)マテックから小型家電回収ボックス設置の提案があったことがきっかけ。

### ★小型家電はどのように回収しているの？

- ・(株)マテック制作の専用回収ボックスを市役所など7箇所に設置し、(株)マテックが回収。
- ・廃棄物処理法の再生利用指定制度を活用(小型電子・電気機器リサイクルについては、収集運搬業・処分業の許可不要)



### ★一般廃棄物の回収量は？そのうち小型家電の回収実績はおおよそどのぐらい？

- ・平成22年度の一般廃棄物は898トン／月。そのうち、小型家電は484kg／月。

### ★どのような小型家電が多いの？

- ・重量ベースで、CDプレイヤー、プリンタ、ビデオデッキ、ノートPC、デスクトップPCの順に多い。

## ■提携事業者

○株式会社マテック

## ■問い合わせ先

石狩市市民生活部 環境室ごみ対策課

電話：0133-72-3126

## 【自治体編：事例(4)】

### 一宮市

- ・人口は約39万人
- ・名古屋市の北側約20kmに位置する市である。



#### ★小型家電等の分別・回収メリットは？

- ① 廃棄物の再資源化(リサイクル率の向上)
- ② 埋立処分場の延命化

#### ★小型家電等回収のきっかけは？

- ① 中部経済産業局からの推奨もあり、上記課題を解決するため平成22年8月にF/Sを実施し、その後、平成23年1月～3月に試行実施。
- ② 試行の結果は採算ベースに乗らなかったが、平成23年3月に中部経済産業局主催の事例発表会に参加し、試行中に生じた課題解決の糸口を得たことから、改善のうえ、平成23年度も7月から再度試行を実施することとした。
- ③ 平成24年度から本格実施を予定。

#### ★資源化しようとしているゴミの回収対象範囲は？

・コンセント若しくは電池・バッテリーで動く電化製品(家電リサイクル法の対象品目、電気毛布等の繊維が付着している物及びファンヒータ等の鉄を主体とする製品を除く。)



#### ★その小型家電の回収量は？

・平成23年1～3月の試行期間においては、約15トンを回収。

#### ★小型家電等はどのように選別しているの？

・住民が環境センターに持ち込んだ粗大ごみ、不燃ごみから環境センター職員が、小型家電をピックアップし、週1度程度、処理業者に引き渡し。

#### ★小型家電等の売却価格は？

・試行期間中は1円/kgで売却。本格実施にあたっては入札を予定

- 提携事業者
- 株式会社 アビツ

- 問い合わせ先
- 一宮市環境部清掃対策課

電話：0586-45-7004

## 【自治体編：事例(5)】

# 射水市

- ・人口は、約9万4千人
- ・富山県の中央に位置し、コンパクトにまとまった市である。



### ★小型家電等の分別・回収メリットは？

- ①市民への有用資源再利用の啓発の促進と排出機会の向上。
- ②市の施設で回収できない金属類の再利用を図るとともに埋立処分場の延命ができる。

### ★小型家電等回収のきっかけは？

- ①富山県の使用済み小型家電等のリサイクル推進モデル事業(平成22年10月～)に参画したのがきっかけ。
- ②現在の市の燃えないごみ処理施設では、銅などの金属類は回収できず、破碎されたものは鉄と可燃物を除き埋立処分となる。このことから、市民への有用資源再利用の啓発と排出機会の向上、また、埋立処分場の延命を図るため。

### ★資源化しようとしているゴミの回収対象範囲は？

- ・電池・電気で動く小型家電製品で1人で簡単に持ち運びできるもの。(例 掃除機、ラジカセなど)



### ★その回収量は？そのうち小型家電の割合はおおよそどのくらい？

- ・平成22年度に施設に持ち込まれた使用済み小型家電量は約10トン(10月から翌年3月まで月平均約1.8トン)

### ★小型家電等はどのように選別しているの？

- ・市民が直接小型家電をごみ処理施設(クリーンピア射水)に持ち込む。

### ★小型家電等の売却価格は？

- ・(入札により)11円/kgで売却。(平成22年度)

## ■提携事業者

○ハリタ金属株式会社

## ■問い合わせ先

射水市市民環境部環境課

電話:0766-52-7967(直通)

## 【自治体編：事例(6)】

# 尾張東部衛生組合 晴丘センター

・瀬戸市、尾張旭市、長久手町(人口:約26万人)のごみ処理を実施



### ★小型家電等の分別・回収メリットは？

- ①飛灰中の金属(鉛など)の含有量低減対策
- ②廃棄物の再資源化(リサイクル率の向上)
- ③埋立処分場の延命化

### ★小型家電等回収のきっかけは？

- ① 中部経済産業局からの提案を受け、平成22年に3カ月間の試行を実施。
- ② 本格実施に向けて、時期・方法等を検討中

### ★資源化しようとしているゴミの回収対象範囲は？

・コンセント若しくは電池で動く電化製品全般(家電リサイクル法の対象品目を除く)



### ★その回収量は？

・平成22年12月から23年2月までの3カ月の試行期間で約6トン。

### ★小型家電等はどのように選別しているの？

・晴丘センターに集められた不燃ごみの中からピックアップを実施。

### ★小型家電等の売却価格は？

・試行は1円/kgで行ったが、本格実施にあたっては入札を想定。

## ■提携事業者

○シービーセンター株式会社

## ■問い合わせ先

尾張東部衛生組合晴丘センター

電話:0561-54-1643